



INDY® JAPAN THE FINAL 開催のご案内

MEDIA INFORMATION
2011.7.15

ツインリンクもてぎ

OFFICIAL PARTNER



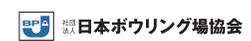
OFFICIAL AIRLINE



OFFICIAL CARGO AIRLINE



PROMOTION PARTNER



社団法人 日本ボウリング場協会



おいしさと健康

ごあいさつ	2
開催概要	3
2011年 TOPICS	4
今シーズンのみどころ	5
インディ ジャパン ザ ファイナルの見どころ	6
現役日本人ドライバー & エントリーリスト	7
レーススケジュール & ポイントランキング	8
インディに挑戦してきた日本人ドライバー	9
INDY® JAPAN の楽しみ方	10
INDY® JAPAN フレンドシップデー	11
イベント	12 ~ 13
INDY® JAPAN 特別メニュー・グッズ	14
Honda 関連情報	15
プレイベント	16 ~ 18
大会パートナー	19
観戦バスツアー	20
チケットのご案内	21 ~ 25
交通ガイド	26
参考資料	27 ~ 30

すべての思い、
いま心ひとつに。

皆様の
思いに **ありがとう!**

平素は当社事業に多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この度の東日本大震災により、被災されました皆様に、心よりお悔みとお見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。私共ツインリンクもてぎも被災をいたしました。今月からすべての施設を再オープンさせていただきました。

ツインリンクもてぎは、1998年の初開催以来、アメリカンモータースポーツの普及を使命として、13年にわたり、オーバルコースを使って最高峰クラスのレースを開催し続けてまいりましたが、残念ながら今年が最後の大会となります。

また、コースの被災により、オーバルコースでの開催を断念せざるを得ず、修復の完了したロードコースでの開催に変更することとなりました。

オーバルコースでの高速バトルを、楽しみにしていただいたファンの皆様には、お詫びを申し上げなければなりません。ロードコースでのインディジャパンを、新しい魅力としてお楽しみいただきたいと存じます。

毎年世界中から集まるトップドライバーたちにより、激しい争いが繰り広げられるインディカーシリーズですが、今年はシリーズ前半の佐藤琢磨選手の活躍によって、これまで以上に期待の高まるシーズンとなっています。先だつての第8戦アイオワでは、日本人として史上初となるポールポジションを獲得し、新たな歴史を作りました。

シリーズの後半戦はもちろんのこと、母国レースとなる「インディジャパン ザ ファイナル」では、日本人による初のインディカーウイナーの偉業を達成していただきたいと、大いに期待しております。

さて、もてぎでのアメリカンモータースポーツの歴史は、過去13年間にわたり、地域の皆様と育んできた、文化の歴史でもあります。毎年、栃木・茨城の皆様には、さまざまなイベントの開催や、おもてなしに取り組んでいただいております。インディジャパン特有の地域文化を育んでいただきました。

地域の皆様とともに作り上げてきたインディジャパンが今年で最後となることは、主催者として本当に残念ではありますが、今年は14年目の集大成として、「すべての思い、いま心ひとつに」をテーマに「インディジャパン ザ ファイナル」と銘打って、これまでの長年の感謝の意を込めて、すべての皆様の記憶に残る、特別な大会にしたいと考えております。

私共はこれからもツインリンクもてぎの魅力である「人」「自然」「モビリティ」の融合という、他の施設にはないユニークな特徴に磨きをかけ、施設の魅力の拡大に努めて参ります。

ツインリンクもてぎに対して、今後も変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

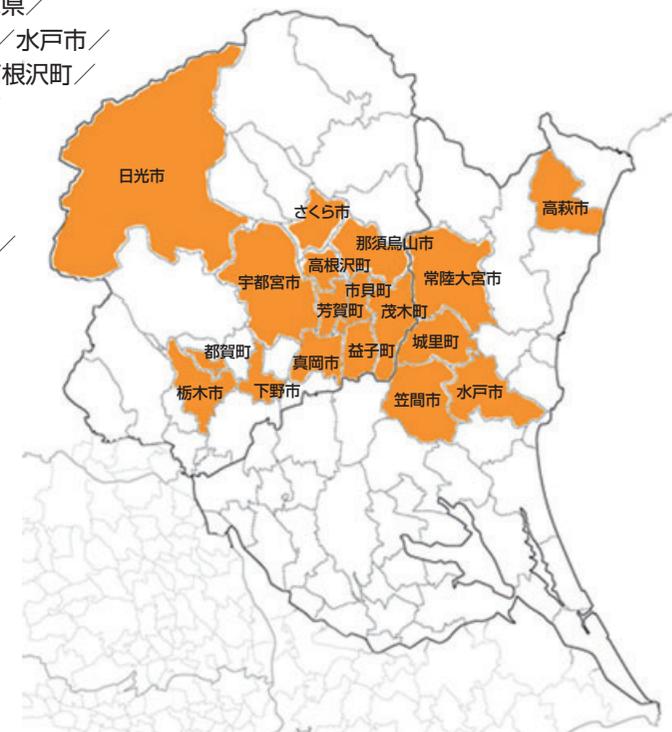
最後になりますが、ご後援賜ります米国大使館様をはじめ、地域の皆様、ご協賛賜りますパートナー各社様、関係各位、そしてファンの皆様にあらためてお礼を申し上げます。



株式会社モビリティランド
取締役社長 大島 裕志

開催概要

- 大会名称 2011 IZOD IndyCar® Series Round 15 INDY® JAPAN THE FINAL
(和文表記) 2011 IZOD インディカー・シリーズ 第15戦 インディジャパン ザ ファイナル
- 主催 株式会社モビリティランド/エムオースポーツクラブ (M.O.S.C.)
- 公認 国際自動車連盟 (FIA) / 社団法人日本自動車連盟 (JAF)
- オフィシャルパートナー パナソニック株式会社
トップツアー株式会社
株式会社 NIPPO
- オフィシャルエアライン 全日本空輸株式会社
- オフィシャルカーゴエアライン 日本貨物航空株式会社
- プロモーションパートナー ローソン
コカ・コーラ ゼロ
社団法人日本ボウリング場協会
江崎グリコ株式会社
- 後援
 - 地域・行政 アメリカ大使館/ブラジル大使館/インディアナ州政府/栃木県/茨城県/
宇都宮市/真岡市/那須烏山市/日光市/栃木市/さくら市/下野市/水戸市/
笠間市/常陸大宮市/高萩市/茂木町/芳賀町/市貝町/益子町/高根沢町/
城里町/栃木県教育委員会/茨城県教育委員会/水戸市教育委員会/
高萩市教育委員会/宇都宮商工会議所/真岡商工会議所/
宇都宮観光コンベンション協会/水戸観光協会/水戸商工会議所
 - 新聞社 読売新聞社/茨城新聞社
 - FMラジオ局 BAY FM (千葉) / FM yokohama (神奈川) / NACK5 (埼玉) /
InterFM (東京) / エフエム群馬 (群馬) / ふくしま FM (福島) /
RADIO BERRY (栃木)
- オフィシャルテレビジョン 日本テレビ放送網
- 開催会場 ツインリンクもてぎ ロードコース
(1周: 2.98 マイル (約 4.8km))
栃木県芳賀郡茂木町桧山 120-1 TEL.0285-64-0001 (代表)
<http://www.twining.jp/>
- 開催日程
 - 9月16日 (金) フレンドシップデイ・練習走行
 - 9月17日 (土) 公式予選・前夜祭
 - 9月18日 (日) 決勝 63周 ※1
 - 9月19日 (月・祝) アフターインディジャパン ※2
 - ※1 タイムスケジュールは決定次第でご案内いたします。
 - ※2 決勝日が荒天により順延の場合、内容が変更となります。



■■■■ 2011年 TOPICS

■最後のインディジパンは、ロードコースで開催!!

2011年でアメリカントップフォーミュラレースが最後の開催となるインディジパン。1998年から CART、インディカー・シリーズの高速バトルを、日本で唯一の本格オーバルコース“スーパースピードウェイ”で開催してきましたが、最後のインディジパンは、ロードコースでの開催となることが決定。ロードコースのデータ、情報がないなか、参加ドライバーの技量がみどころです。また、「すべての思い、いま心ひとつに」をテーマに今までにインディジパンを支えていただいた、全ての人に感謝の意を込めた様々なイベント展開を予定しています。

■日本を代表する佐藤琢磨が頂点を目指す!!

F1日本人最高3位の記録を持つ佐藤琢磨が、2年目のインディカー・シリーズに参戦。第6戦テキサス(レース1)では、オーバルでの自己最高位を塗り替える5位でフィニッシュ。第8戦アイオワでは日本人ドライバー初のポールポジションを獲得。一方、ロードコースにおいては、開幕戦セント・ピーターズバーグでキャリアベストの5位でフィニッシュ。第4戦サンパウロでは、23周もレースをリードし、優勝目前まで迫りました。今シーズンの今後の活躍に期待がかかります。

■今年のインディジパンは金曜日からイベント満載!!

今年は金曜日から走行が行われます。昨年のインディジパンは土曜日に練習走行、公式予選、日曜日に決勝レースと二日間の走行でしたが、今年は初のロードコースでの開催ということもあり、金曜日の走行が復活しました。金曜日の練習走行・フレンドシップデイから、土曜日の予選、日曜日の決勝レース、決勝翌日の月曜日(祝日)はアフターインディジパンデーと開催期間を通じて、インディジパンを楽しむことができます。

■日本人初優勝がインディジパンの可能性も!!

世界のトップドライバーを迎え撃つ佐藤琢磨の戦いに注目。初のロードコースで開催となるインディジパンは、各チームに参考になるデータが存在しません。しかし、佐藤琢磨には地元日本のファンの声援を力に、F1などのロードコースカテゴリーで培った技量を披露してくれるに違いありません。インディジパン、インディカー・シリーズにおける日本人初優勝への期待がかかります。

今シーズンのみどころ

第 8 戦が終了した時点でのシリーズの流れ

今シーズンもシリーズの序盤はロード&ストリート・コースで構成され、開幕戦はストリートのセント・ピーターズバーグで開催されました。オープニングを制したのは昨年のチャンピオンであるダリオ・フランキッティで、2009年トロント以来となる市街地レースで勝利。3年連続、4度目の王座獲得に向けて好スタートを切りました。

自然の地形を生かしたロード・コースの第2戦アラバマ(バーバー・モーター・スポーツパーク)では、昨年の最終戦でクラッシュに終わり、フランキッティに逆転チャンピオンを許してしまったウィル・パワーが優勝。今年こそ初タイトルを手に入れるべく、パワーも順調なスタートを切ったと言えるでしょう。

アメリカで最も長い歴史を持つ市街地レース、第3戦ロング・ビーチでは今年からアンドレティ・オートスポーツ入りしたマイク・コンウェイが初優勝。途中ピットのミスで22番手まで後退したコンウェイは、そこから追いついての勝利であり、前年のインディ500で遭った大クラッシュからのみごとなカムバックでした。

第4戦は南米ブラジル、サンパウロのストリート・コースで開催され、パワーが開幕から4戦連続でポール・ポジションを獲得。雨で赤旗中断となり、二日間にわたって行われたレースでは佐藤琢磨が雨の中トップに躍進するも、チームの作戦が裏目に出て後退し、パワーが2年連続でサンパウロを制覇しました。

今季初オーバルとなった第5戦は、100周年を迎えたシリーズのメインイベント、インディ500です。みごとポール・ウィナーに輝いたのはアレックス・タグリアーニで、カナダ人が初ポール・ポジション。レースではトップを走行していたルーキーのJRヒルデブランドがラスト・

ラップの最終ターンでまさかのクラッシュを喫し、スポット参戦のダン・ウェルドンが優勝するという大波乱のレースとなりました。

続く第6戦はシリーズ中最大となる24度のハイバンク・オーバルのテキサスで、1981年以来のダブルヘッダーとして2レースに分けて開催されました。第1レースではフランキッティが優勝するも、抽選で決まった第2レースのグリッドはなんと28番。運まで味方したか、3番グリッドを当てたパワーが第2レースを制覇し、念願のオーバル初優勝を達成しました。

テキサスの3分の2となる1マイル・オーバルのミルウォーキーで開催された第7戦。フランキッティが前戦の7位フィニッシュで21ポイントに広がってしまった差を縮めるべく、ポール・ポジションと最多リードラップを築いて今季3勝目を達成しました。1レースで獲得可能な最大ポイントを手に入れ、4位フィニッシュのパワーとついに同点まで追いついたのです。

オーバル4連戦の最後となるのは、シリーズ中最も小さいアイオワ・スピードウェイで、予選ではみごと佐藤琢磨が初めてのポール・ポジションを獲得しました。残念ながらレースではクラッシュを喫してリタイアに終わり、予選17位から追いついてきたマルコ・アンドレティが優勝。実に79戦ぶり、2006年以来となる2勝目で、オーバルでの初優勝をマークしました。

開幕戦から第4戦までのロード&ストリート、第5戦から第8戦までのオーバル4戦、そしてストリートコースの第9戦を終えた現在、フランキッティがランキング・トップに返り咲いています。パワーとの差は55ポイントですが、昨年ロード&ストリートで5勝したパワーが第10戦以降も巻き返しを図るのは必至。さらにパワーはテキサス

でオーバル初優勝も経験しており、終盤に向けてこの二人が昨年以上に熱い戦いを繰り広げていくのは間違いありません。



■■■■ インディ ジャパン ザ ファイナルの見どころ

●いったん幕を閉じることになった 日本のインディカー・レース

1996年11月5日に“PPG インディカー・ワールド・シリーズ”の日本開催を発表し、ツインリンクもてぎのスーパー・スピードウェイを舞台に1998年から開催されてきたアメリカ最高峰のオープン・ホイール・レース。14年目となる今年のレースで幕を閉じることとなり、最後はロードコースでの開催となりますが、100年の歴史を誇るインディカーのレースを存分にご堪能ください。

●事前テストは一切なし、 全員がイコールコンディション

大小様々な14のコーナーで構成されるツインリンクもてぎのロードコース。第4コーナーからゆるやかに下ってスーパー・スピードウェイのバックストレート下をくぐり抜け、次は上りながら一番奥のヘアピンまで進みます。続いて最も特徴的なダウンヒル・ストレートを一気に下りきると、90度コーナーを経て上がりながらメイン・ストレートへ。自然の地形を生かしたアップ・ダウンのあるレイアウトという点では、アメリカのロード・コースとなんら変わることなく、ほとんどがロード・コース出身のインディカー・ドライバーにとって、とてもチャレンジし甲斐のあるコースと言えるでしょう。事前のテストがいっさい行われず、全員がイコール・コンディションとなれば、ロード・コースを得意とする佐藤琢磨にとってもチャンスは大きく、地元日本での日本人初優勝の期待がかかります。

●2代目のロード・コース・チャンピオンが 日本で決定

昨年のインディジャパンでは、ダリオ・フランキッティがオーバルレースだけで競われる“AJ フォイト・トロフィー”（オー

バル・チャンピオンシップ）を決め、初代のオーバル・チャンピオンに輝きました。今年はインディ・ジャパン ザ ファイナルがロード&ストリートの最終戦となることから、日本で“マリオ・アンドレッティ・トロフィー”（ロード・チャンピオンシップ）が決まることとなります。第9戦終了時点でのロード・チャンピオンシップのポイントリーダーはフランキッティで、2位がウィル・パワー、3位オリオール・セルビア、4位ライアン・プリスコ、5位ディクソンと続きます。初代ロード・チャンピオンのパワーに続く、2代目のロード・コース・マスターの栄冠は誰の手に輝くのでしょうか。

●スピンやクラッシュでタイム剥奪、 緊迫した勝ち抜き予選

これまでのオーバルでは1台ずつのシングル・カー・クオリファイでしたが、ロード&ストリートの予選は3回のラウンド（セグメント）で行われ、最終ラウンドは“ファイアストン・ファスト・シックス”と命名されています。最初に行われる第1ラウンドは前日のプラクティスの総合タイムによってグループ分けされ、偶数順位が第1グループ、奇数順位が第2グループとして15分ずつアタックします。13位以下のグリッドはここで確定します。次の第2ラウンドへと駒を進めた12台は、10分間のアタックで上位6位と7位～12位までを決定。勝ち残った上位6台は再び10分間の最終ラウンドに進出し、ポール・ポジションから6位までが決定します。スピンやクラッシュなどでフルコースコーションや赤旗の原因を作ったとオフィシャルに認定された場合、ベストと2番目のタイムが剥奪されてしまい、2度続けた場合は全タイム剥奪と残り時間にアタックする資格を失ってしまうので、非常に緊迫した予選が最後まで続きます。

●勝負のカギとなるレッド・タイヤ、 どのスティントで使うのか

レース中はブラックタイヤ（プライマリー・タイヤ）とソフトコンパウンドを使用している新品のレッドタイヤ（オルタネート・タイヤ）を少なくとも1セットずつ使わなければならない、どちらもグリーン・フラッグの周回に最低でも2周走ることが義務付けられています。どのタイヤをどの順番で使うかが重要となります。例えばスタートは新品のレッドタイヤで順位を上げ、第2スティントは長く走るためにブラックタイヤ、最後は再びレッドタイヤで追い上げるといった選択肢もあれば、新品のレッドタイヤにブラックタイヤを2回続けて使うドライバーもいます。勝敗を左右するタイヤマネジメントも、インディカーの魅力と言えるでしょう。



■■■■ 現役日本人ドライバー & エントリーリスト

■佐藤琢磨



- F1 を経て (08 年)
- シリーズ: 10 年、11 年 (第 9 戦終了時) の計 27 戦
最高位はセント・ピーターズパーク、
テキサス (レース 1) の 5 位
- インディ 500: 10、11、最高位は 10 年の 20 位
- ツインリンクもてぎ: 10 年 12 位



インディ 500 が 100 周年を迎えた今シーズン、第 8 戦アイオワの 0.875 マイル・オーバルにおいて、佐藤琢磨が参戦 25 戦目で初のポール・ポジションを獲得しました。F1 と双璧をなすアメリカ最高峰のオープン・ホイール・シリーズに、初めて挑んだ日本人はヒロ松下で、1990 年のこと。以来 20 年以上の歳月を経て、ついに最初の日本人“ポール・ウィナー”が誕生したのです。

通常ロード&ストリート・コースではいかにタイムを縮めるかが注目されますが、オーバルでは 1 台ずつ周回するシングルカー・クオリファイの予選方式で、「誰が一番スピードを出すか」を競います。それだけにトップ・スピードを記録すればチャンピオンに重要なポイントや賞金も用意されるほどで、インディカーの世界ではまさに“勝者”であり、佐藤琢磨は“ポール・ウィナー”として 100 年の伝統にその名を刻んだのです。

昨年デビューした佐藤琢磨がインディカーの世界で真っ先に頭角を現したのは、やはり元 F1 パイロットらしく、常設のロード・コースでした。ロード&ストリートの予選は 3 ラウンドで行われるのですが、デビュー 3 戦目のバーバー・モーター・スポーツパークの予選で最終ラウンドまで勝ち残り、みごと予選 6 位を獲得。次のロード・コースである第 9 戦ワトキンス・グレンも最終ラウンドで 5 番グリッドを手に入れました。

第 12 戦ミッド・オハイオではロード・コースで 3 連続の最終ラウンド進出を決め、予選 3 位を獲得。すでにこの時常設ロード・コース (ストリート・コースを除く) での日本人ベスト・グリッドを記録しており、名門チーム・ペンスキーやチップ・ガナッシ・レーシングといったチャンピオン・チームの一角を崩す活躍を見せていたのです。

昨年は予選上位からうまく結果に繋げることができませんでしたが、2 年目の今年は開幕戦のストリート・コース、セント・ピーターズバーグで自己ベストの 5 位フィニッシュ。雨中のレースとなった第 4 戦ブラジルでは 9 人抜きを見せて 23 周もトップを快走するなど、素晴らしい活躍をみせています。また、テキサスの第 1 レースではオーバルの自己ベストとなる 5 位でフィニッシュしました。様々な経験を積み、トップ・クラスの仲間入りを果たそうとしている 2 年目の佐藤琢磨。ロード・コースでの開催となった「インディジャパン ザ ファイナル」でも、予選から活躍が期待できるだけでなく、優勝して再び名を刻む瞬間を、我々は目の当たりにできるかもしれません。

■暫定エントリーリスト

チーム名	No.	ドライバー	国籍
A.J. フォイト・エンタープライズ A.J.Foyt Enterprises	14	ヴィットール・メイラ Vitor Meira	ブラジル
アンドレッティ・オートスポーツ Andretti Autosport	7	ダニカ・パトリック Danica Patrick	アメリカ
	26	マルコ・アンドレッティ Marco Andretti	アメリカ
	27	マイク・コンウェイ Mike Conway	イギリス
	28	ライアン・ハンターレイ Ryan Hunter-Reay	アメリカ
コンクエスト・レーシング Conquest Racing	34	セバスチャン・サーベドラ Sebastian Saavedra	コロンビア
デイル・コイン・レーシング Dale Coyne Racing	18	ジェームズ・ジェイクス James Jakes	イギリス
	19	アレックス・ロイド Alex Lloyd	イギリス
ドレイヤー&レインボールド・レーシング Dreyer & Reinbold Racing	22	ジャスティン・ウィルソン Justin Wilson	イギリス
	24	アナ・ベアトリス Ana Beatriz	ブラジル
HVM レーシング HVM Racing	78	シモーナ・デ・シルベストロ Simona De Silvestro	スイス
KV レーシング・テクノロジー・ロータス KV Racing Technology-Lotus	5	佐藤琢磨 Takuma Sato	日本
	59	E.J. ヴィノ E.J. Viso	ベネズエラ
	82	トニー・カナーン Tony Kanaan	ブラジル
ニューマン・ハース・レーシング Newman/Haas Racing	2	オリオール・セルビア Oriol Servia	スペイン
	06	ジェームズ・ヒンチクリフ James Hinchcliffe	カナダ
ノボ・ノルディスク・チップ・ガナッシ・レーシング Novo Nordisk Chip Ganassi Racing	83	チャーリー・キンボール Charlie Kimball	アメリカ
パンサー・レーシング Panther Racing	4	J.R. ヒルデブランド JR Hildebrand	アメリカ
サム・シュミッツモータースポーツ Sam Schmidt Motorsports	77	アレックス・タグリアーニ Alex Tagliani	カナダ
サラ・フィッシャー・レーシング Sarah Fisher Racing	67	エド・カーペンター Ed Carpenter	アメリカ
サービス・セントラル・チップ・ガナッシ・レーシング Service Central Chip Ganassi Racing	38	グラハム・レイホール Graham Rahal	アメリカ
ターゲット・チップ・ガナッシ・レーシング Target Chip Ganassi Racing	9	スコット・ディクソン Scott Dixon	ニュージーランド
	10	ダリオ・フランキッティ Dario Franchitti	スコットランド
チーム・ペンスキー Team Penske	3	エリオ・カストロネベス Helio Castroneves	ブラジル
	6	ライアン・プリスコ Ryan Briscoe	オーストラリア
	12	ウィル・パワー Will Power	オーストラリア

※エントリーリストは変更となる場合がございます。

レーススケジュール & ポイントランキング

2011 レーススケジュール

Rd.	日程	トラック	コースレイアウト
第1戦	3月27日(日)	Streets of St.Petersburg [ストリート・オブ・セント・ピーターズバーグ]	1.8マイル ストリートコース
第2戦	4月10日(日)	Barber Motorsports Park [バーバー・モータースポーツ・パーク]	2.38マイル ロードコース
第3戦	4月17日(日)	Streets of Long Beach [ロングビーチ特設コース]	1.968マイル ストリートコース
第4戦	5月1日(日)	Streets Circuit in Sao Paulo [サンパウロ特設コース]	2.6マイル ストリートコース
第5戦	5月29日(日)	Indianapolis Motor Speedway [インディアナポリス・モーター・スピードウェイ]	2.5マイル オーバル
第6戦	6月11日(土)	Texas Motor Speedway [テキサス・モーター・スピードウェイ]	1.5マイル オーバル
第7戦	6月19日(日)	The Milwaukee Mile [ザ・ミルウォーキー・マイル]	1.0マイル オーバル
第8戦	6月25日(土)	Iowa Speedway [アイオワ・スピードウェイ]	0.875マイル オーバル
第9戦	7月10日(日)	Streets of Toronto [トロント特設コース]	1.75マイル ストリートコース
第10戦	7月24日(日)	Edmonton City Centre Airport [エドモントン・シティセンター空港 特設コース]	2.256マイル エアポートコース
第11戦	8月7日(日)	Mid-Ohio Sports Car Course [ミッド・オハイオ・スポーツカー・コース]	2.258マイル ロードコース
第12戦	8月14日(日)	New Hampshire Motor Speedway [ニューハンプシャー・モーター・スピードウェイ]	1.0マイル オーバル
第13戦	8月28日(日)	Infineon Raceway [インフィニオン・レースウェイ]	2.303マイル ロードコース
第14戦	9月4日(土)	Streets of Baltimore [ボルチモア特設コース]	2.4マイル ストリートコース
第15戦	9月18日(日)	Twin Ring Motegi [ツインリンクもてぎ]	2.98マイル ロードコース
第16戦	10月2日(日)	Kentucky Speedway [ケンタッキー・スピードウェイ]	1.5マイル オーバル
第17戦	10月16日(日)	Las Vegas Motor Speedway [ラスベガス・モーター・スピードウェイ]	1.5マイル オーバル

ポイントランキング (第9戦終了時点)

順位	ドライバー	総合	1	2	3	4	5	6-1	6-2	7	8	9
1	ダリオ・フランキッティ	353	52	35	35	32	24	27	13	53	32	50
2	ウィル・パワー	298	41	53	21	53	26	17	27	32	12	15
3	スコット・ディクソン	270	14	40	12	18	45	20	20	26	35	40
4	オリオール・セルビア	232	22	30	28	30	40	6	7	35	16	18
5	トニー・カネン	221	35	28	24	12	36	9	15	12	40	10
6	ライアン・プリスコ	219	12	12	42	35	13	14	18	19	28	26
7	マルコ・アンドレティ	216	12	32	10	16	25	8	14	17	50	32
8	グラハム・レイホール	208	13	12	17	40	38	11	5	40	15	17
9	JR ヒルデブランド	193	19	17	13	20	44	6	6	12	32	24
10	アレックス・タグリアーニ	173	28	15	30	12	25	17	8	12	14	12
11	ダニカ・パトリック	173	18	13	26	12	23	7	12	30	20	12
12	エリオ・カストロネベス	172	12	26	18	12	17	10	16	22	26	13
13	ヴィットーリオ・メイラ	171	24	18	22	13	19	12	9	12	12	30
14	佐藤琢磨	167	30	14	12	24	14	15	9	24	13	12
15	ジェームス・ヘンチクリフ	158	-	12	32	22	14	6	6	28	22	16
16	マイク・コンウェイ	156	12	12	50	28	-	6	6	18	12	12
17	ジャスティン・ウィルソン	153	20	12	12	26	18	6	6	20	18	15
18	ライアン・ハンター・レイ	150	12	16	12	12	12	6	11	10	24	35
19	シモーナ・デシルベストロ	137	32	22	12	12	14	5	5	10	5	20
20	E.J.ヴィン	135	12	12	10	17	14	13	10	12	13	22
21	チャーリー・キンボール	129	12	20	12	14	20	5	6	16	12	12
22	アナ・ベアトリス	111	16	-	12	12	15	6	6	13	12	19
23	セバスチャン・サーベドラ	106	17	10	16	19	-	5	5	12	12	10
24	ジェームス・ジェクス	102	15	10	15	15	-	5	5	15	10	12
25	セバスチャン・ボーダイス	72	5	19	10	10	-	-	-	-	-	28
26	エドカー・ベンター	72	-	-	-	-	26	6	7	14	19	-
27	ラファエル・マトス	67	26	12	19	10	-	-	-	-	-	-
28	ダン・ウェルドン	59	-	-	-	-	59	-	-	-	-	-
29	ボルト・レイシー	58	-	-	14	-	13	9	8	-	-	14
30	アレックス・ロイド	58	-	-	-	-	15	8	6	12	17	-
31	ペルトラン・バゲット	30	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-
32	トーマス・シェクター	28	-	-	-	-	28	-	-	-	-	-
33	ジェイ・ハワード	27	-	-	-	-	14	7	6	-	-	-
34	ディビー・ハミルトン	26	-	-	-	-	16	5	5	-	-	-
35	シモン・バジェノー	24	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-
36	タウンゼント・ベル	21	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-
37	パティ・ライス	20	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-
38	ジョン・アンドレティ	16	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-
39	ヒツバマン	15	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-
40	ウエイド・カニングハム	10	-	-	-	-	-	5	5	-	-	-

R1: ストリート・オブ・セント・ピーターズバーグ/ストリートコース
R2: バーバー・モータースポーツパーク/ロードコース
R3: ストリート・オブ・ロングビーチ/ストリートコース
R4: サンパウロ市街地 特設コース/ストリートコース
R5: インディアナポリス・モーター・スピードウェイ/オーバルコース
R6: テキサス・モーター・スピードウェイ/オーバルコース ※2レース制
R7: ザ・ミルウォーキー・マイル/オーバルコース
R8: アイオワ・スピードウェイ/オーバルコース
R9: トロント特設コース/ストリートコース

■各レースで与えられるポイント
1位:50、2位:40、3位:35、4位:32、5位:30、6位:28、7位:26、8位:24、9位:22、10位:20、11位:19、
12位:18、13位:17、14位:16、15位:15、16位:14、17位:13、18位~24位:12、25位~33位:10

■ボーナスポイント
ポール・ウィナー:1、最多ラップリーダー:2

■■■■ インディに挑戦してきた日本人ドライバー

初めてインディカー・シリーズに参戦した日本人ドライバーは1990年のヒロ松下で、21周年となる2011年、佐藤琢磨が12人目の日本人ドライバーとしてフル参戦を開始しました。

この21年の間にCART～IRLを通して12人の日本人ドライバーが参戦。年間ランキングの最上位は2003年の高木虎之介と2008年に武藤英紀が記録した10位となっています。最上位は2008年に武藤英紀が記録した2位で、残るは表彰台の真ん中、優勝の二文字しかありません。

インディ500に参戦したのも松下が最初で、1991年の初挑戦以来これまでに9人の日本人が挑み、最高位は2003年の高木虎之介が記録した5位。1998年から始まった日本戦、ツインリンクもてぎでの凱旋レース参戦を果たしたのは10人で、13戦中、松浦孝亮が記録した2006年の7位が最高位です。

※日本人ドライバー全記録（1996～2003年はCARTとIRLの2シリーズが開催され、それぞれに日本人ドライバーが参戦していたため、CARTは年の後にCを表記）

ヒロ 松下 ●フォーミュラ・アトランティック西地区を経て（89年）
●シリーズ：90C、91C、92C、93C、94C、95C、96C、97C、98C年の計117戦、最高位は94年ミシガンの6位、ベスト・シーズンは91年の23位
●インディ500：91、93、94、95年の計4戦、最高位は95年の10位
●ツインリンクもてぎ：98年16位

松田 秀士 ●全日本F3000選手権を経て（87年）
●シリーズ：94C、95C、96、98C、99年の計5戦、最高位は96年インディの8位、ベスト・シーズンは96年の30位
●インディ500：94、95、96、99年の4戦、最高位は96年の8位
●ツインリンクもてぎ：98年18位

服部 尚貴 ●インディ・ライツを経て（98年）
●シリーズ：99C年の計8戦、最高位はラグナ・セカの14位、ランキングは35位
●インディ500：無
●ツインリンクもてぎ：無

服部 茂章 ●インディ・ライツを経て（98年）
●シリーズ：99C、00、01、02、03の計33戦、最高位は02年テキサスの6位、ベスト・シーズンは01年の13位
●インディ500：02、03の2戦、最高位は02年の20位
●ツインリンクもてぎ：99年20位

中野 信治 ●F1を経て（98年）
●シリーズ：00C、01C、02C、03年の計58戦、最高位は02年トロントの4位、ベスト・シーズンは02年の17位
●インディ500：03年、最高位は14位
●ツインリンクもてぎ：00年14位、01年8位、02年10位、03年11位

黒澤 琢弥 ●全日本F3000選手権を経て（90年）
●シリーズ：00C年の計8戦、最高位はデトロイトの12位、ランキング29位
●インディ500：無
●ツインリンクもてぎ：00年20位

高木 虎之介 ●F1を経て（99年）
●シリーズ：01C、02C、03、04年の計70戦、最高位は03年テキサスの3位、ベスト・シーズンは03年の10位
●インディ500：03、04年、最高位は03年の5位（日本人最高位）、ルーキー・オブ・ザ・イヤー
●ツインリンクもてぎ：01年20位、02年8位、03年8位、04年10位

野田 英樹 ●F1を経て（94年）
●シリーズ：02年の6戦、最高位はフェニックスの10位、ランキングは32位（IRL）
●インディ500：無
●ツインリンクもてぎ：無

ロジャー安川 ●フォーミュラ・アトランティックを経て（02年）
●シリーズ：03、04、05、06、07、08、09、10年の計40戦、最高位は03年のカンザスとカリフォルニアでの4位、ベスト・シーズンは03年の12位（IRL）
●インディ500：03、04、05、06、07年の計5戦（日本人最多出場）、最高位は03年と04年の10位
●ツインリンクもてぎ：03年21位、04年11位、05年18位、08年14位、09年20位、10年20位

松浦 孝亮 ●フォーミュラ・ルノーV6ユーロカップを経て（03年）
●シリーズ：04、05、06、07、09年の計65戦、最高位は04年ケンタッキーと07年ミシガンの4位、ベスト・シーズンは06年の13位（IRL）、04年ルーキーオブザイヤー
●インディ500：04、05、06、07年の計4回、最高位は04年の11位、ルーキーオブザイヤー
●ツインリンクもてぎ：04年8位、05年9位、06年7位（日本人最高位）、07年18位、09年17位

武藤 英紀 ●インディ・プロシリーズを経て（07年）
●シリーズ：07、08、09、10の計52戦、最高位は、08年アイオワの2位。ベスト・シーズンは、08年の10位、08年ルーキー・オブ・ザ・イヤー
●インディ500：08、09、10、最高位は、08年の7位
●ツインリンクもてぎ：08年11位、09年14位、10年14位

INDY® JAPAN の楽しみ方 ~ INDY® JAPAN を楽しむためのチェック項目! ~

INDY® JAPAN 公式ホームページでチェック

■ 公式 Twitter

インディーカーシリーズの旬なニュースやレース結果、ドライバーのプライベートなツイートなど他では分からない情報が盛りだくさん。トップページの窓から覗いて見よう!

【公式アカウント】 indyjapan

■ 13年分の思い出を!

INDY® JAPAN 公式ホームページで13年分の思い出を皆様から大募集!

あの頃は小さかった家族や、最後に伝えたいあの思い、など写真やコメントなどホームページ上で紹介いたします。

■ みんなのレース予想投票

毎戦毎戦、誰が勝つのか!? 公式ホームページでみんなの予想を投票しよう! 専門家のレビューを参考にしてもよし、自分の期待度で投票するもよし、すぐに投票結果も分かるので、気軽に参加いただけます。

■ INDY® メルマガ

INDY® JAPAN 情報や動画ニュース・話題のピックアップコンテンツなど、メルマガでしかお伝えできない情報をお届けしています。登録は INDY JAPAN 公式ホームページから。

当日会場でチェック

■ Twitter でチェック

レース状況や、場内で行われているイベントなど、リアルタイムな情報を Twitter で配信。お手元の携帯電話などでチェックいただけます。文字情報なので、レース中でも確実に最新情報を入手いただけます。Twitter を通じて、みんなで盛り上がりよう!

【公式アカウント】 indyjapan

■ 場内で聞こう! レース実況中継場内 FM77.5Mhz

ツインリンクもてぎでレース期間中は実況中継が FM ラジオで聞くことが出来ます。

当日は FM ラジオが聞ける機器を持って行こう!

また、当日は場内で FM ラジオのレンタルも行っています。

料金: 1,000 円 / 3 日間 (保証金: 5,000 円 / 1 台)

※保証金はラジオご返却時に返金となります。

■ 優勝ドライバー当てクイズ

レース開催期間中、専用モバイルサイトにて優勝~3位のドライバー予想投票を実施いたします。場内ではアメリカンモータースポーツに精通するジャーナリストなどによる「優勝者予想ステージ」を実施! 初観戦の方はここでヒント得ることができます。見事正解した方には、素敵なプレゼントをご用意! 是非、ご家族ご友人でご参加ください。

テレビ放送でチェック

■ 地元テレビ

地元出身タレント「U字工事」が INDY® JAPAN THE FINAL を盛り上げます!

自称インディマスター・U字工事が「インディジャパン・ザ・ファイナル」を盛り上げるべく、VTRでインディのまつわるクイズを出題! 視聴者をインディマスターへと導きます!!

タイトル : モタ6 - 自称インディ応援隊・U字工事のインディマスターへの道!!

放送局 : とちぎテレビ

放送日時 : 7月26日(火) ~ 9月13日(火) 毎週火曜日、イブニング6内にて放送

出演 : 渡辺一宏・片山侑紀(とちぎTVアナウンサー) その他ゲスト(ドライバーなど)



地上波ローカル放送
クルマ情報番組「CarXs」での INDY 特集!!

とちぎテレビ、東京 MX、テレ玉、群馬テレビで放送中のクルマエンタメ番組「カーエクス」内で「インディジャパン・ザ・ファイナル」の特集が放送されます。番組 MC で、日本人唯一の FIA チャンピオン新井敏弘選手がレースのポイントなどをお伝えします。

タイトル : カーエクス
放送局 : とちぎテレビ、東京 MX、テレ玉、群馬テレビ
放送日時 : 8月5日(金) ~ 8月26日(金)
※番組内で4週連続で放送(予定)

出演 : 新井敏弘選手(レースドライバー)、女性リポーター



プレイイベントでチェック

■ INDY® JAPAN RADIO & INDY Cafe

7局ネットでお届けする「INDY JAPAN RADIO」では佐藤琢磨選手とレースアナウンサーとしておなじみ、ピエール北川氏によるスペシャル対談をお届け! 毎回聞き逃せない情報が飛び出す、スペシャルコンテンツ。また、週末に開催される INDY Cafe では栃木県を中心に様々な場所でイベントを実施!



■ ローソン宇都宮上桑島町店にインディーカー登場

プロモーションパートナーでもあるローソンとのタイアップ企画が実現。ローソン宇都宮上桑島町店にインディマシンの登場(到着予定7月17日 AM10 時ごろ)。当日はローソン宇都宮上桑島町店で Ponta カードで300円以上(税込み)お買い物をいただいたお客様(未入会の方はその場で無料でご入会いただけます)限定で、スペシャル抽選会も実施します。INDY® JAPAN 観戦チケットのほか様々な賞品を用意しております。

日時: 7月17日(日) 10時~17時

場所: ローソン宇都宮上桑島町店

※イベントに関しての店舗への直接のお問い合わせはご遠慮ください

※インディマシンの到着及び抽選時刻は予告なしに変更になる場合がございます。

インディドライバー登場のイベント盛り沢山

インディドライバーとの交流を中心としたイベントデー。昨年ご好評いただいた「パドック無料開放」、「ドライバーサイン会」、「チャリティオークション」を実施いたします。今年は午後にインディカーの練習走行が行われ、交流イベントと迫力の走行シーンを両方楽しめるお得な一日となります。

■ドライバーサイン会

全ドライバー参加のサイン会を実施します。観戦券をもっていないお客様も、インディドライバーにサインをもらえるチャンスです。

会場：スーパースピードウェイ特設会場
出演：INDY® JAPAN 参戦全ドライバー



■チャリティオークション

インディドライバーの秘蔵グッズなどを、公開でチャリティオークションいたします。収益金は、日本赤十字社を通じて被災地に義援金として寄付させていただきます。

会場：グラウンドスタンドプラザ・メインステージ



■ロードコースバスツアー

インディジャパン決勝が行われるロードコースを、レーシングドライバーが、バスガイドとして同乗するバスでご案内いたします。

会場：ロードコース



■ロードコースファミリードライブ

熱いバトルが繰り広げられるツインリンクもてぎロードコース。ここを走るにはレースに出場するか、サーキットライセンスを取得してスポーツ走行に参加するのが通常です。そのようなロードコースをもっと手軽にマイカーで、家族一緒にサーキットをドライバー目線で楽しむことができるプログラムです。全長は4.8km、14のテクニカルなコーナーがアナタを待っています。参加資格：普通自動車免許証をお持ちで自家用車でご来場の方。



■パドック無料開放

観戦券をお持ちの方はパドックに無料で入場可能です。

会場：パドック



■ロードコース・コースウォーク

INDY® JAPAN THE FINAL が行われるロードコースを、お客様ご自身の足で歩いてドライバーの目線を体験いただけます。

会場：ロードコース



※写真はイメージです

※悪天候の場合は、ドライバーサイン会、チャリティオークションは会場を変更して実施いたします。

※内容は予告なく変更となる場合がございます。

決勝レースを翌日に控えた 17 日土曜日に、前夜祭を開催。決勝レースに向けて盛り上がりよう!!

■歴代ウイナー集合オールスタートーク

これまでインディジャパンを制した栄えあるウイナーが集結し、秘蔵のトークを披露します。

出演：ダニカ・パトリック、トニー・カナーン、
エリオ・カストロネベス、スコット・ディクソン

※登場選手は変更になる場合がございます。



ダニカ・パトリック トニー・カナーン エリオ・カストロネベス スコット・ディクソン

■歴代日本人ドライバー同窓会トーク

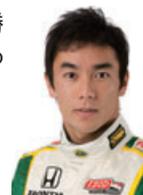
これまで参戦した日本人選手がインディジャパンに駆けつけます。ドライバーならではの視点で翌日の決勝レースの展開や、インディジャパンの思い出トークを繰り広げます。

出演：武藤英紀、松浦孝亮、中野信治

■佐藤琢磨登場!

予選を終えたばかりの佐藤琢磨選手が登場!決勝に向けた抱負や、戦略などレアなトークが聞けるかも。琢磨ファンは必見です。

出演：佐藤琢磨



佐藤琢磨

■ Top3 予想ステージ

翌日に控えた、史上初のロードコースでの決勝レースをインディジャーナリストが鋭く予想します。

出演：齊藤和記 … 他

フェアウェルイベント 9月 18日 (日)

■ありがとう!大抽選会

14 年間のご声援に感謝を込めて様々なプレゼントを抽選でご用意いたします。

時間：表彰式終了後

会場：グランドスタンドプラザメインステージ

内容：関係各所からご協賛品をお客様に抽選にてプレゼント

決勝翌日の 9/19 (月) にアフターインディジャパンデーとして、体験型イベントを開催

決勝レースが順延になった場合、アフターインディジャパンのイベントは全て中止となる場合がございます。予めご了承ください。

■同乗体験走行

前日にインディカーが決勝レースを走ったばかりのロードコースを、プロドライバーが運転する車両の助手席に乗って体験いただくことができます。

会場：ロードコース

■バスガイドによるコース見学

前日にインディカーが決勝レースを走ったばかりのロードコースを、バスに乗ってバスガイドがコースの解説・ご案内をいたします。

会場：ロードコース

■施設見学

普段足を踏み入れることのできないレースの舞台裏をご案内。インディジャパンの余韻を余すことなく楽しみください。

会場：コントロールタワー (予定)

イベント 9月16日(金)～18日(日)

■ INDY® JAPAN THE FINAL 特別展

『HIGHLIGHT ～アメリカトップフォーミュラがくれた興奮と感動～』

これまでツインリンクもてぎで開催された CART レース、インディカーレースに参戦したマシンを展示。1998年の初開催以降、13年間に及ぶ数々のレースのハイライトシーンを映像や写真で紹介します。また佐藤琢磨選手がこれまで使用してきたレースマシンやヘルメットなどを展示。日本人唯一のフル参戦となる佐藤選手のキャリアスタートからインディカーレース参戦までの足跡をたどります。

開催期間：2011年7月16日(土)～9月19日(月・祝)

会場：Honda Collection Hall 1階中央ステージ / 2階中央エリア

展示車両(予定)：レイナード 2KI ホンダ(2000年) ジル・ド・フェラン
 ローラ B02 ホンダ(2002年) エイドリアン・フェルナンデス
 ダラーラ IR3 ホンダ(2004年) トニー・カナーン
 ダラーラ IR3 ホンダ(2004年) ダン・ウェルドン
 SRS-F スクールマシン(1997年)
 スーパーアグリ SA07(2007年) 佐藤琢磨
 ※展示車両は変更する場合がございます。



■ 来場者全員に記念ピンズをプレゼント

最後のインディジャパンに足を運んでいただいたお客様全員に、「ありがとう」の思いを込めて記念ピンズ(非売品)をプレゼントいたします。

■ グリコプレゼンツ 琢磨チャレンジ in モビパーク

モビパークの様々なりもので佐藤琢磨選手が出した記録に挑戦!

会場：モビパーク

おいさと健康



■ ハローウッズ

- ① 里山ウォークラリー INDY® JAPAN 編
 里山を歩きながらモビリティと自然の関係について楽しく知っていただけます。
- ② INDY® JAPAN キャンプ
 インディジャパン観戦をハローウッズの森でキャンプをしながら楽しんでいただくプログラムです。

会場：ハローウッズ

■ 2輪、4輪の様々なカテゴリーで活躍する トップ選手が、場内の各所でイベントに参加いたします

- ・ロードコースバスツアー
- ・モビパークのりもの体験
- ・トライアルデモ 他

■ Top 3 予想モバイル投票 ～インディジャパンドリーム3～

決勝レースをTOP3でフィニッシュする選手を予想して、お手持ちの携帯電話から投票! 見事予想的中で全ドライバーサイン入りヘルメットをプレゼントします。

■ モータースポーツ大集合

SUPER GT、フォーミュラ・ニッポン、MotoGP、トライアル、参加型レースマシン車両展示を予定しています。展示車両の詳細は決定次第ご案内いたします。

会場：グラウンドスタンド・プラザ

特別メニュー販売！

■ INDY® JAPAN THE FINAL バーガー

かつてグランツーリスモカフェの目玉商品の一つだった300マイルバーガーが3日間限定で復刻!!

300gチキンカツをガツンとのせたバーガーに、トマトベースのさっぱりしたチリソース、風味づけの味噌がポイントのオリジナルホワイトソース・・・紅白2種類のソースを添えました。



料 金：1,000円

期 間：9月16日（金）～9月18日（日）3日間限定

場 所：グランツーリスモカフェ（パドック）

■ MOTEGI INDY® JAPAN THE FINAL 丼

ツインリンクもてぎのロゴマーク "m" に見立てた栃木県産のポークソーセージ。

スパイシーなジャンバラヤと一緒に食べて、INDY® JAPANを盛り上げよう!!



料 金：900円

場 所：ブリックヤード前 仮設店舗（中央エントランス）

特別グッズ販売！

■ 1/64 スケールダイキャストミニカー

「KV Racing Technology-Lotus 佐藤琢磨 日本限定パッケージ」

昨年から引き続き「IZOD IndyCar® Series」に参戦している元F1ドライバー、佐藤琢磨選手。その佐藤琢磨選手が駆るマシンの1/64ダイキャストモデルを日本限定パッケージで販売いたします。

料 金：1,260円（予価）

場 所：ビクトリーレーン・グランツーリスモ カフェ ショップ・
ミュージアムショップ・INDY® JAPAN 特設テント



※商品画像は2010年モデルのため実際の商品とは異なります。

特別グッズ販売！

■ 2011 INDY® JAPAN オフィシャルグッズ

今年のオフィシャルグッズは「The American Spirit is Eternal in Our Hearts」のメッセージとCART時代を含めた歴代のWINNERを記したデザイン。定番のTシャツからタオル、パスケースなどバリエーション豊富に品揃えします。ビクトリーレーン、グランツーリスモ カフェ ショップ、ミュージアムショップ、INDY® JAPAN 特設テント等で販売いたします。

料 金：Tシャツ 2,500円（予価）

カラー：ブラック・ホワイト・ネイビー・グレー・イエロー

サイズ：S・M・L・XL

※Tシャツ以外にも多数品揃えを予定しています。



※商品内容、価格等は予告なく変更になる場合がございます。

■■■■ Honda 関連情報

■ Honda Cars がドライバー応援プログラムに参画!!

Honda Cars とそのお客様が INDY® JAPAN 観戦を今まで以上に楽しめるよう、Honda Cars が応援ドライバーを選定し、シーズン開幕と同時に一丸となって一人のドライバーを応援するプログラムを今年も実施いたします。

INDY® JAPAN では応援ドライバーのマシンに Honda Cars のステッカーが貼られ、各 Honda Cars から駆けつける応援団の声援を受け、熱いバトルを繰り広げます。また、当日は Honda Cars のお客様とドライバーとの交流も予定しております。

【プログラムへの参画が決定している Honda Cars と応援ドライバー】

Honda Cars 茨城	ダニカ・パトリック
Honda Cars 神奈川北	佐藤 琢磨
Honda Cars 群馬中央	エリオ・カストロネベス
Honda Cars 埼玉	マルコ・アンドレッティ
Honda Cars 東京中央	トニー・カナーン
Honda Cars 栃木	スコット・ディクソン
Honda Cars 南栃木	ダリオ・フランキッティ
Honda Cars 宮城中央	ライアン・プリスコ
Honda Cars 横浜	ウィル・パワー



ダニカ・パトリック



佐藤 琢磨



エリオ・カストロネベス



マルコ・アンドレッティ



トニー・カナーン



スコット・ディクソン



ダリオ・フランキッティ



ライアン・プリスコ



ウィル・パワー

■ INDY® JAPAN THE FINAL 観戦ペアチケットプレゼントキャンペーン

キャンペーン期間中、Honda Carsにご来場の方に抽選で、合計 4,000組 8,000名に、「INDY® JAPAN THE FINAL 指定席」観戦ペアチケットをプレゼント。

キャンペーン期間：6月25日(土)～8月8日(月)

抽 選：8月10日(水)

※チケットには入場料・観戦券が含まれますが、駐車券は含まれておりません。

※関東・甲信越以外の地区ではキャンペーン不参加の Honda Cars もございます。

(関東・甲信越＝神奈川・東京・埼玉・千葉・茨城・栃木・群馬・山梨・長野・新潟)

※詳細はキャンペーン事務局 03-3770-6015 まで (平日 10時～18時)

インディジャパン ザ ファイナル プレイベント実行委員会実施イベント

「INDY® JAPAN THE FINAL」開催までの約2ヶ月間、各所にてさまざまなプロモーションイベントを展開いたします。

■インディフラッグの掲出

宇都宮市から茂木町にかけて広域的にフラッグを掲出することで、地域住民をはじめ観光客や宿泊者に向けて、インディジャパンのプロモーション周知を図るとともに、地域との一体感を醸成します。

掲出予定期間：2011年 7月19日(火)
～ 9月18日(日)

掲出場所：宇都宮市・芳賀町・市貝町・茂木町の
中心市街地と主要アクセス道路の一部



■インディスタンプラリー

各自治体の観光スポットやツインリンクもてぎをスタンプで結ぶラリー。規定数のスタンプ獲得者には抽選で景品を進呈。様々な団体とのコラボレートによって、インディジャパンの地域密着度を高めていきます。応募用紙は各チェックポイントほか栃木県内にあるローソン約108店舗ほかにて配布を予定しています。

期 間：2011年7月19日(火)～9月30日(金)

チェックポイント：道の駅もてぎ(茂木町)、市貝町役場(市貝町)、道の駅はが(芳賀町)、ろまんちっく村(宇都宮市)、ローソン宇都宮東宿郷四丁目店・池上店・柳田町店(宇都宮市)、ツインリンクもてぎ(茂木町)

■インディジャパン展

インディジャパンの展示物等をパッケージ化し、実行委員会構成自治体内において開催されるイベントとのタイアップや施設内展示等を行い、県内はもとより県外からお見えになるお客様へのインディジャパン開催周知を図ります。

イベント	：【茂木町】 祇園祭りふるさと茂木夏まつり	7月30日(土)
	【芳賀町】 芳賀ロマン花火	8月6日(土)
	【宇都宮市】 ふるさと宮まつり	8月6日(土)・7日(日)
	【市貝町】 水辺のコンサート	8月9日(火)

■インディジャパンフェスティバル 2011

今年は、茂木町の情報発信基地「道の駅もてぎ」においてイベントを開催。インディジャパン ザ ファイナルの開催に向けた機運の向上に努めます。

実施予定日：2011年8月28日(日)

実施場所：道の駅もてぎ(茂木町)

実施内容：1. 実施委員会構成自治体ステージ・ゲーム
2. インディジャパンステージ
3. 出展ブース(農産物・特産物やインディジャパン PR)

■インディカクテル

インディカーシリーズにフル参戦している日本人ドライバー佐藤琢磨選手の応援カクテル「TakuMatcha」(タクマッチャ)が今年も登場します。グリーン(抹茶)とイエロー(レモン)で佐藤琢磨選手のマシンをイメージしたさっぱりとした味わいのオリジナルカクテルです。

TakuMatcha レシピ：抹茶リキュール 20ml
コアントロー 20ml
グレープフルーツジュース 30ml
ブルーキュラソー 5ml
カットレモン

期 間：2011年7月中旬～9月19日(月)

※ INDY® JAPAN 当日は場内にて販売予定

宇都宮カクテル倶楽部加盟店 (<http://www.ucclub.net/>)にてお飲みいただけます。



インディジャパン 300 プレイベント実行委員会

構成団体：茂木町、市貝町、芳賀町、宇都宮市、株式会社とちぎテレビ、株式会社エフエム栃木、株式会社栃木放送、株式会社下野新聞社、読売新聞社宇都宮支局、宇都宮観光コンベンション協会、株式会社モビリティランド

協 賛：株式会社ローソン
栃木地区モータースポーツ・コミッティ各社

INDY® JAPAN RADIO

■佐藤琢磨選手とピエール北川氏によるスペシャルトーク

番組パーソナリティにモータースポーツ専門アナウンサー、ピエール北川氏を起用。佐藤琢磨選手とのスペシャル対談をメインに、INDY® JAPAN THE FINAL の魅力をたっぷりお届けします。

■ INDY® JAPAN RADIO 2011 概要

◆ネット7局

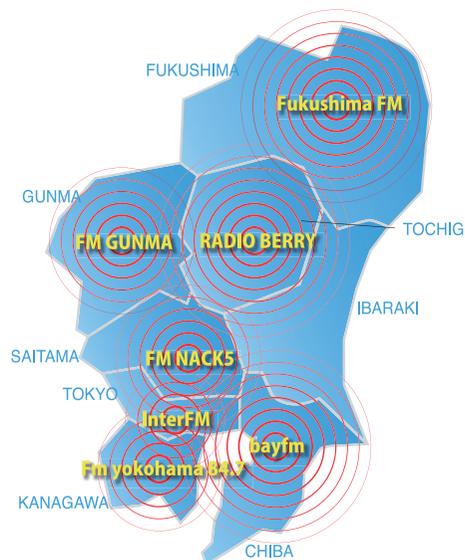
ふくしま FM (福島県) / RADIO BERRY (栃木県) / エフエムぐんま (群馬県) / NACK5 (埼玉県) / inter fm (東京) / bayfm(千葉県) / Fm yokohama(神奈川県)

◆放送曜日・時間

週1回・10分 各局のワイド番組で調整

◆放送期間・回数

7月21日(木)～9月17日(土)・全9回



●放送時間：金曜日 18:20～18:30



●放送時間：金曜日 15:00～15:10



●放送時間：土曜日 9:50～10:00



●放送時間：土曜日 11:15～11:25



●放送時間：木曜日 19:20～19:30



●放送時間：木曜日 11:50～12:00



Fm yokohama 84.7

●放送時間：木曜日 20:41～20:51



ピエール北川

モータースポーツ専門アナウンサー&MC
三重県桑名市出身

ツインリンクもてぎ、鈴鹿サーキットなど全国のサーキットで様々なレースの場内実況を担当。キレの良い口調とわかりやすい実況がレースファンの心をつかんでいる。その他、自動車、バイク関連イベントの司会、モータースポーツ関連 TV 番組の進行や実況など、「モータースポーツ専門アナ」の肩書通りの活躍を見せている。

■■■■ プレイイベント ③

■ INDY® Cafe @ RADIO BERRY

2011年は栃木県を中心に様々な場所でINDY® Cafeを展開! INDY JAPAN RADIOと連動して話題発信を行います。

期 間 : 8月初旬~(予定)
企画・運営 : RADIO BERRY



■ 「タッチザエコクリーンウォーク」 ふるさと宮まつりクリーン大作戦!

宇都宮市「ふるさと宮まつり」会場内での清掃活動を実施いたします。大人から子どもまで広く参加者を募り、身近な行動をきっかけに環境問題への意識向上目指し、参加された子供たちへの教育プログラムとして今年も展開いたします。

実施日 : 8月7日(日) 10:30~12:00
実施場所 : 宇都宮市大通り付近の市街地
主 催 : とちぎテレビ



■ ふるさと宮まつり会場内で「ツインリンクもてぎオリジナルうちわ」を配布!

北関東最大の夏祭りである「ふるさと宮まつり」会場内で「ツインリンクもてぎオリジナルうちわ」を配布します。省エネの夏に涼しい風をお送りします。

実施日 : 8月7日(日)
実施場所 : 宇都宮市大通りにて配布します。
(合計: 3000本)



■ 「クリーンアッププロジェクト」水戸市内で清掃イベント実施

昨年に引き続き道路の清掃活動「クリーンアッププロジェクト」を実施します。今回は水戸市内。~身近なことから始めよう~をテーマに大人から子どもまで幅広く参加者を募り、身近な環境を見直す活動を通じて、ゴミ拾いをはじめ、ゴミの分別・リサイクルによる環境啓蒙イベントを行います。

実施日 : 8月27日(土)
会 場 : 水戸中心部
主 催 : 茨城新聞社



■ 栃木、茨城、群馬 3 県合同の INDY JAPAN タブロイド紙発行

2011年のINDYタブロイドは、栃木県、茨城県、群馬県の3県による発行となり、更にパワーアップしました。各県知事のコメントや各県で開催するプレイイベント情報・グルメ情報など「INDY® JAPAN THE FINAL」を楽しむ情報が満載。INDYガイドを通じて3県の元気を発信します。

発行日 : 8月6日(土)
発 行 : 下野新聞、茨城新聞、上毛新聞に折り込まれます。

大会パートナー

■オフィシャルパートナー

パナソニック株式会社

世界のブランド「Panasonic」は、佐藤琢磨選手のサポートとともに大会オフィシャルパートナーとして今年も大会を盛り上げていただきます。

トップツアー株式会社

ドライバー、チームスタッフの移動、宿泊のコーディネートでインディジャパンをサポート。また、インディジャパン観戦ツアーの実施で、お客様の快適な観戦をサポートいたします。

株式会社 NIPPO

道路建設のパイオニアとして、我が国のモータリゼーションの発展とともに歩んでいる株式会社 NIPPO 様には、今回開催のロードコースのコンディション作りに大きく貢献いただきました。コース建設・レース運営を通じまして、大会を力強くサポートしていただきます。

■オフィシャルエアライン

全日本空輸株式会社

日本を代表する航空会社で ANA でおなじみ。今年もインディジャパンで来日するドライバーやチームスタッフの日米間の快適な空の旅をサポートいたします。

■オフィシャルカーゴエアライン

日本貨物航空株式会社

日本で唯一の貨物専門航空会社。豊富な実績とノウハウを活かし、輸送戦略のスペシャリストとしてハイクオリティの航空輸送サービスを展開しています。インディマシンも特殊なパレットを用いて安全に輸送いただいています。

■プロモーションパートナー

ローソン

「マチのホットステーション ローソン」でおなじみ。2010年よりプロモーションパートナーとして、ツインリンクもてぎ、鈴鹿サーキットで行われるモータースポーツイベントのPRにご協力いただきます。

コカ・コーラ ゼロ

モータースポーツでは「コカ・コーラ ゼロ」鈴鹿8時間耐久ロードレース」でおなじみのブランド。インディジャパンではイベントの協賛を中心に大会を盛り上げていただきます。

社団法人日本ボウリング場協会

“健康スポーツ” “生涯スポーツ” “コミュニケーション・スポーツ”として、ますますその評価が高まっているボウリングの普及活動を行っています。インディジャパンではプロモーションパートナーとして大会PRにご協力いただきます。

おいしさと健康

江崎グリコ株式会社

“おいしさと健康”をテーマに、子供たちの食の未来を支えます。今年のインディジャパンでは、佐藤琢磨選手のサポートとともに、モビパークの様々なアトラクションを通じて大会を盛り上げていただきます。

チケットのご案内 ①

ドライバー応援席を販売

人気ドライバー 3 人の応援席を販売いたします。

■佐藤琢磨応援席 (3日間通し券)



券種	料金	入場エリア
大人	14,000円	C席(4,000席限定)
子ども	4,300円	

※限定販売のため、完売になり次第販売を終了します。

【販売窓口】

ツインリンクもてぎチケットセンター、MOBILITY STATION、各プレイガイドおよびコンビニエンスストアほか。

※応援グッズ付き

■ダニカ・パトリック応援席 (3日間通し券)



券種	料金	入場エリア
大人	14,000円	B席(200席限定)
子ども	4,300円	

※限定販売のため、完売になり次第販売を終了します。

【販売窓口】

ツインリンクもてぎチケットセンター、MOBILITY STATION、ローソンチケット、ローソン

※応援グッズ付き

■トニー・カナーン応援席 (3日間通し券)



券種	料金	入場エリア
大人	14,000円	B席(200席限定)
子ども	4,300円	

※限定販売のため、完売になり次第販売を終了します。

【販売窓口】

ツインリンクもてぎチケットセンター、MOBILITY STATION、ローソンチケット・ローソン

※応援グッズ付き

販売期間 7月16日(土)～9月15日(木)

チケットのご案内 ②

2011年7月16日(土)より前売券発売開始

【価格はすべて税込】

お得なファミリーチケットを販売

■前売券料金 (3日通し券) 【販売期間 7月16日(土)～9月16日(金)】

お買い求め安い自由席!さらにお得なグループ割・学割も登場しました!

券種	自由席	ファミリーチケット (自由席) 大人2名・子ども2名 / 4輪駐車券	学割	グループ割3	グループ割4
大人	6,000円	14,000円	3,000円	16,200円	20,400円
子ども	500円		-	-	-

券種	座席指定						B席下段 アウトレット	車椅子席	
	A席	B席	D席	G席	Z席	5コーナー席		グランドスタンド席	自由席
大人	16,000円	14,000円	9,000円	12,000円	14,000円	20,000円	7,000円	14,000円	6,000円
子ども	1,500円	1,500円	1,000円	1,000円	1,500円	6,000円	1,500円	1,000円	500円

- ※ 大人は高校生以上、子どもは3歳～中学生です。
- ※ 座席指定が有効となるのは決勝日(9/18)のみです。
- ※ 自由席は10,000枚の限定販売です。
- ※ 車椅子席はグランドスタンド席、自由席ともに販売枚数に限りがございます。同伴者の方も同料金のチケットが必要です。
ツインリンクもてぎチケットセンター(窓口・電話)のみでの取り扱いです。
- ※ お車・バイクでご来場の場合は、別途駐車券が必要です。
- ※ 学割は引換券です。学生証をお忘れの際は3,000円の追加料金が発生しますのでご注意ください。
- ※ 各グループ割・学割は前売販売のみとさせていただきます。
- ※ B席下段アウトレット席はグランドスタンドB席下段の限定販売です。レース観戦の際にはフェンス等の障害物が観戦の妨げになる場合がございます。予めご了承ください。
- ※ B席下段アウトレット席は、MOBILITY STATIONのみの取り扱いです。
- ※ 5コーナー席にはお弁当、お茶、専用駐車券(大人券のみ)、プログラム(大人券のみ)が付きます。

■当日券料金

券種	9/16(金)	9/17(土)	9/18(日)								
	練習走行	予選	自由席	座席指定						車椅子席	
	全席自由席	全席自由席		A席	B席	B席アウトレット	D席	G席	Z席	グランドスタンド席	自由席
大人	1,200円	4,000円	10,000円	20,000円	18,000円	11,000円	13,000円	16,000円	18,000円	18,000円	10,000円
子ども	500円	500円	500円	1,500円	1,500円	1,500円	1,000円	1,000円	1,500円	1,000円	500円

- ※ 各座席・前売券が完売した場合、当日券の販売は行いません。
- ※ 各ファミリーチケットおよび各グループ割・学割の当日券はございません。
- ※ お車・バイクでご来場の場合は、別途駐車券が必要です。

|||| チケットのご案内 ③

【価格はすべて税込】

ゆったり優雅に観戦・・・

世界最速レースを満喫していただくために最高のホスピタリティをご用意いたしました。

イベントやショッピングをアクティブに楽しみながら最高の眺望でレース観戦ができるグランドスタンド最上段のVIPテラスと落ち着いた環境でのお食事、歓談などビジネスユースも可能な唯一の屋内席VIPスイートの2種類をご用意しました。お客様の観戦スタイルに合わせてお選びいただけます。

■ VIP テラス (3日通し券) 【販売期間 7月16日(土)～9月10日(土)】

券種	料金	備考
VIP テラス (3歳以上共通)	¥40,000	VIP テラス(座席指定席)での観戦 パドックへの入場(2日間) お弁当、フリードリンク付(決勝日のみ) 公式プログラム・記念品付き 指定駐車券(アクティブセーフティレーシングパーク臨時駐車場)付き

※販売窓口はツインリンクもてぎチケットセンター・MOBILITY STATION・各プレイガイドおよびコンビニエンスストアとなります。

※VIP テラス席のみではテーブル席のご利用はできません。テーブル席ご利用希望のお客様は別途VIP テラス テーブル席をご購入ください。

※テーブル席の販売窓口はツインリンクもてぎチケットセンター窓口、お電話による通信販売のみとなります。なおご利用の場合はVIP テラス席の購入も必要です。

※テーブル席の料金はコース側8,000円、通路側4,000円です。(最大4名様までご利用いただけます。)

■ VIP スイート (3日通し券) 【販売期間 7月16日(土)～9月10日(土)】

券種	料金	備考
VIP スイート (3歳以上共通)	¥100,000	VIP スイートでの観戦 VIP テラスでの観戦 パドックへの入場(2日間) お食事(土曜・日曜2日間の朝食および昼食とフリードリンク) 公式プログラム・記念品・公式リザルト 中央エントランス付近の駐車場を2,000円にてお買い求めいただけます。(P4もしくはP13を予定しています。) その他、VIP スイートならではの特典を準備中!

※販売窓口はツインリンクもてぎチケットセンター・お電話による通信販売・MOBILITY STATION となります。

チケットのご案内 ④

■前売駐車券 (3日通し券)

券種	料金
四輪	2,000円
二輪	500円

※ 四輪は 10,000 枚の限定販売となります。

※ 前売券の販売は 7月16日(土)～9月15日(木)となります。

※ 前売駐車券が完売の場合、当日駐車券の販売はありません。お車でお越しのお客様は必ず前売駐車券をお求めください。

■当日駐車券 (3日通し券)

券種	料金		
	9/16 (金)	9/17 (土)	9/18 (日)
四輪	2,000円	2,000円	3,000円
二輪	1,000円	1,000円	1,000円

■パドックパス料金 (2日[土・日] 通し券)

パドックパス等のオプションチケットは 7月16日(土)の一般販売の開始時点での販売はございません。7月下旬での決定を予定しています。決定次第ツインリンクもてぎホームページにてご案内させていただきます。

※ 一般販売開始以降の販売となるため、MOBILITY STATIONではオプションチケット販売開始から期間限定で「オプションパス追加購入～送料無料キャンペーン」を実施予定です。
キャンペーンの詳細は決定次第ツインリンクもてぎホームページにてご案内させていただきます。

■各種指定駐車券 (3日通し券)

らくらく指定駐車券、コースサイド駐車券は、抽選販売とさせていただきます。
自由席エリア指定駐車券は、通常どおり販売いたします。

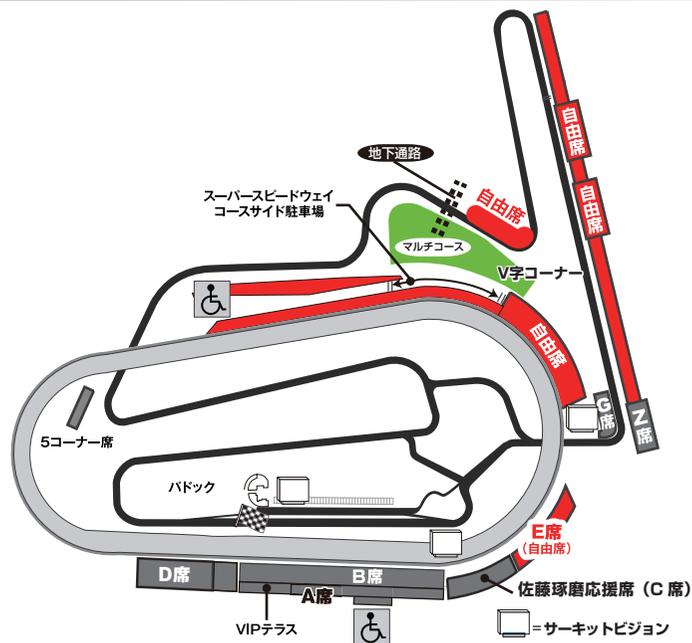
※ 詳細はツインリンクもてぎホームページにてご確認ください。

チケットの主なお求め先

- ツインリンクもてぎチケットセンター窓口販売／電話受付販売
..... 0285-64-0080
- MOBILITY STATION パソコン: <http://mls.mobilityland.co.jp/>
..... モバイル: <http://mls.mobilityland.co.jp/mobile/>
- チケットぴあ 0570-02-9999
- ローソンチケット 0570-000-777
- CN プレイガイド 0570-08-9999
- e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>
- 道の駅もてぎ (栃木県・茂木町) 0285-63-5671
- 道の駅はが (栃木県・芳賀町) 028-677-6000
- Honda ウェルカムプラザ青山 (東京・青山一丁目 / Honda 青山ビル 1F)
..... 03-3423-4118
- 鈴鹿サーキットモビリティステーション 059-378-1111
- 三菱 UFJ ニコスチケットサービス (三菱 UFJ ニコスカード会員専用)
上記プレイガイドに加え、下記コンビニエンスストアでもご購入いただけます。
- ローソン (全店舗): 各店舗の「ローソン LOPPI」にて購入可能です。
- セブンイレブン (全店舗): 店内のマルチコピー端末で購入可能です。
- ファミリーマート (全店舗): 店内の Fami ポート、ファミネットにて購入可能です。
- サークル K
- サンクス

チケットのご案内 ⑤

観客席のご案内



A 指定

- スタートやゴールの瞬間、表彰式を正面でみることができます。
- さまざまなイベントが行われる中央エントランスも近く、INDY® JAPANを満喫できる座席です。

D 指定

- メインストレートをはじめ1コーナーから4コーナーまで一望できます。
- とくにスタート直後の1コーナーでの争いは注目です。

G 指定

- 90° コーナーのイン側にあるG席は、Z席と向かい合ように設置されており、90° コーナーの攻防を間近に観戦することができます。
- コーナリングを内側から見られるなど、ひと味違った観戦が楽しめます。
- さらに、バックストレート付近でのマシンは最高速に到達するなどINDYマシンの迫力を肌で感じることができます。

Z 指定

- 90° コーナーのコースサイドにあり、数多くのオーバーテイクシーンを間近で見ることができます。
- サーキットビジョンでレース展開も把握できるため、サーキット観戦初心者からレース通まで幅広いファンに人気のポイントです。

佐藤琢磨応援席 C席

- ピクトリーコーナーから迫力のあるメインストレートの追い越しシーンや、インフィールドの3,4コーナーのコーナリングと幅広く見渡せるエリアです。

※指定席は決勝日のみ有効とし、9/16（練習走行）、9/17（公式予選日）の座席ならびにエリアの指定はありません（VIPスイート、VIPテラスを除く）。



交通ガイド

■電車でご来場の場合 ※料金は片道です。

● JR 東北新幹線ご利用の場合

東京駅～宇都宮駅下車 宇都宮駅西口よりバス…………… 6,300 円
 上野駅～宇都宮駅下車 宇都宮駅西口よりバス…………… 6,100 円
 大宮駅～宇都宮駅下車 宇都宮駅西口よりバス…………… 5,080 円

● JR 東北新幹線、水戸線、真岡鉄道ご利用の場合

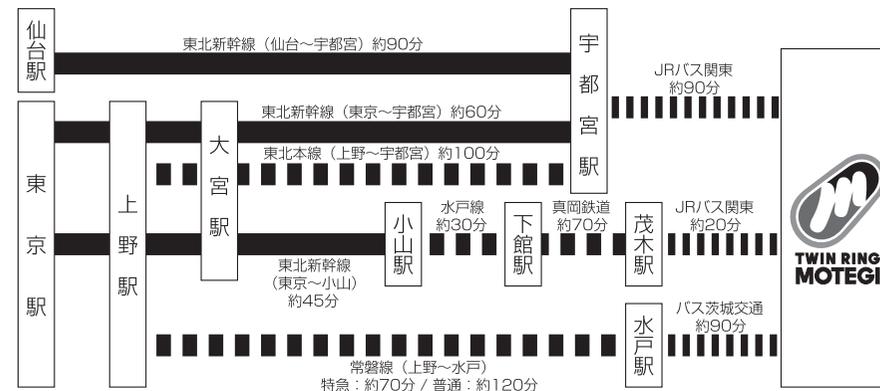
東京駅～小山駅（水戸線乗換）～下館駅（真岡鉄道乗換）～茂木駅下車 茂木駅よりバス……………5,420 円
 上野駅～小山駅（水戸線乗換）～下館駅（真岡鉄道乗換）～茂木駅下車 茂木駅よりバス……………5,050 円
 大宮駅～小山駅（水戸線乗換）～下館駅（真岡鉄道乗換）～茂木駅下車 茂木駅よりバス……………4,720 円

● JR 常磐線ご利用の場合

・特急スーパーひたち／上野駅～水戸駅下車 水戸駅北口よりバス……………5,520 円
 ・普通／上野駅～水戸駅下車 水戸駅北口よりバス……………3,710 円

● JR 東北本線ご利用の場合

上野駅～宇都宮駅下車 宇都宮駅西口よりバス…………… 3,390 円
 大宮駅～宇都宮駅下車 宇都宮駅西口よりバス…………… 2,780 円



■車でご来場の場合

● 常磐自動車道

- ①水戸北スマートインター（ETC 専用）から約 30 分
- ②水戸インターから約 40 分
- ③那珂インターから約 40 分

友部ジャンクション経由 北関東自動車道

- ④友部インターから約 50 分
- ⑤笠間西インターから約 50 分
- ⑥桜川筑西インターから約 60 分

● 東北自動車道

- ⑦鹿沼インターから約 90 分
- ⑧宇都宮インターから約 90 分

栃木都賀ジャンクション経由北関東自動車道

- ⑨真岡インターから約 50 分
- ⑩宇都宮上三川インターから約 70 分



※ 上記エリアマップは、ツインリンクもてぎ報道関係者専用サイトからダウンロードいただけます。
 ※ 所要時間は交通事情により異なりますので、目安としてご利用ください。

ツインリンクもてぎ・スーパースピードウェイ 13年の記録【1998-2010年】

ツインリンクもてぎのスーパースピードウェイを舞台に、1998年からスタートしたアメリカン・オープン・ホイールの最高峰シリーズ。5年間のCART時代を経て、2003年よりIRLインディカー・シリーズの公式戦が8年にわたって開催されてきました。優勝したドライバーやマシン、地元で奮闘した日本人選手の全記録です。

●第1回 1998年3月26日～28日

CART フェデックス・チャンピオンシップ・シリーズ第2戦
バドワイザー 500

優勝：アドリアン・フェルナンデス

(パトリック・レーシング：フォード／レイナード／ファイアストーン)

2位：アル・アンサー Jr.

(チーム・ペンスキー：メルセデス・ベンツ／ペンスキー／グッドイヤー)

3位：ジル・ド・フェラン

(ウォーカー・レーシング：ホンダ／レイナード／グッドイヤー)

PP：ジミー・バツサー※P

(チップ・ガナッシ・レーシング：ホンダ／レイナード／ファイアストーン)

日本人ドライバー：ヒロ松下 16位 (予選 30位)、松田秀士 18位 (予選 25位)



●第2回 1999年4月8日～10日

CART フェデックス・チャンピオンシップ・シリーズ第2戦
ファイアストーン・ファイアホーク 500

優勝：アドリアン・フェルナンデス

(パトリック・レーシング：フォード／レイナード／ファイアストーン)

2位：ジル・ド・フェラン

(ウォーカー・レーシング：ホンダ／レイナード／グッドイヤー)

3位：クリスチャン・フィッティパルディ

(ニューマン／ハース・レーシング：フォード／スイフト／ファイアストーン)

PP：ジル・ド・フェラン

(ウォーカー・レーシング：ホンダ／レイナード／グッドイヤー)

日本人ドライバー：服部茂章 20位 (予選 24位)



●第3回 2000年5月11日～14日

CART フェデックス・チャンピオンシップ・シリーズ第4戦
ファイアストーン・ファイアホーク 500

優勝：マイケル・アンドレッティ

(ニューマン／ハース・レーシング：フォード／ローラ／ファイアストーン)

2位：ダリオ・フランキッティ

(チーム・グリーン：ホンダ／レイナード／ファイアストーン)

3位：ロベルト・モレノ

(パトリック・レーシング：フォード／レイナード／ファイアストーン)

PP：ファン・モントーヤ

(チップ・ガナッシ・レーシング：トヨタ／ローラ／ファイアストーン)

日本人ドライバー：中野信治 14位 (予選 11位)、黒澤琢弥 20位 (予選 23位)



●第4回 2001年5月17日～19日

CART フェデックス・チャンピオンシップ・シリーズ第5戦
ファイアストーン・ファイアホーク 500

優勝：ケニー・ブラック

(チーム・レイホール：フォード／ローラ／ファイアストーン)

2位：エリオ・カストロネベス

(チーム・ペンスキー：ホンダ／レイナード／ファイアストーン)

3位：トニー・カナーン

(モー・ナン・レーシング：ホンダ／レイナード／ファイアストーン)

PP：エリオ・カストロネベス

(チーム・ペンスキー：ホンダ／レイナード／ファイアストーン)

日本人ドライバー：中野信治 8位 (予選 13位)、高木虎之介 20位 (予選 24位)



●第5回 2002年4月25日～27日

CART フェデックス・チャンピオンシップ・シリーズ第3戦
ブリヂストン・ポテンザ 500

優勝：ブルーノ・ジュンケイラ

(チップ・ガナッシ・レーシング：トヨタ／ローラ／ブリヂストン)

2位：アレックス・タグリアーニ

(フォーサイス・レーシング：フォード／レイナード／ブリヂストン)

3位：ダリオ・フランキッティ

(チーム・グリーン：ホンダ／レイナード／ブリヂストン)

PP：ブルーノ・ジュンケイラ

(チップ・ガナッシ・レーシング：トヨタ／ローラ／ブリヂストン)

日本人ドライバー：高木虎之介 8位 (予選 11位)、中野信治 10位 (予選 20位)

参考資料 ②

●第6回 2003年4月11日～13日

IRL インディ・カー・シリーズ第3戦

ブリヂストン・インディ・ジャパン 300

優勝：スコット・シャープ

(ケリー・レーシング：トヨタ／ダラーラ／ファイアストン)

2位：ケニー・ブラック

(チーム・レイホール：ホンダ／ダラーラ／ファイアストン)

3位：フェリペ・ジャフォーネ

(モー・ナン・レーシング：トヨタ／Gフォース／ファイアストン)

PP：スコット・ディクソン※P

(チップ・ガナッシ・レーシング：トヨタ／Gフォース／ファイアストン)

日本人ドライバー：高木虎之介 8位 (予選 3位)、中野信治

11位 (予選 21位)、服部茂章 20位 (予選 22位)、ロジャー

安川 21位 (予選 15位)



●第7回 2004年4月15日～17日

IRL インディ・カー・シリーズ第3戦

ブリヂストン・インディ・ジャパン 300

優勝：ダン・ウェルドン

(アンドレッティ・グリーン・レーシング：ホンダ／ダラーラ／ファイアストン)

2位：トニー・カナーン

(アンドレッティ・グリーン・レーシング：ホンダ／ダラーラ／ファイアストン)

3位：エリオ・カストロネベス

(チーム・ペンスキー：トヨタ／ダラーラ／ファイアストン)

PP：ダン・ウェルドン

(アンドレッティ・グリーン・レーシング：ホンダ／ダラーラ／ファイアストン)

日本人ドライバー：松浦孝亮 8位 (予選 4位)、高木虎之介

10位 (予選 21位)、ロジャー安川 11位 (予選 13位)



●第8回 2005年4月28日～30日

IRL インディカー・シリーズ第4戦

ブリヂストン・インディ・ジャパン 300

優勝：ダン・ウェルドン

(アンドレッティ・グリーン・レーシング：ホンダ／ダラーラ／ファイアストン)

2位：スコット・シャープ

(フェルナンデス・レーシング：ホンダ／パノス／ファイアストン)

3位：パディ・ライス

(レイホール・レターマン・レーシング：ホンダ／パノス／ファイアストン)

PP：サム・ホーニッシュ Jr.

(チーム・ペンスキー：トヨタ／ダラーラ／ファイアストン)

日本人ドライバー：松浦孝亮 9位 (予選 9位)、ロジャー安川

18位 (予選 21位)



●第9回 2006年4月20日～22日

IRL インディカー・シリーズ第3戦

ブリヂストン・インディ・ジャパン 300

優勝：エリオ・カストロネベス

(チーム・ペンスキー：ホンダ／ダラーラ／ファイアストン)

2位：ダン・ウェルドン

(アンドレッティ・グリーン・レーシング：ホンダ／ダラーラ／ファイアストン)

3位：トニー・カナーン

(アンドレッティ・グリーン・レーシング：ホンダ／ダラーラ／ファイアストン)

PP：エリオ・カストロネベス※R

(チーム・ペンスキー：ホンダ／ダラーラ／ファイアストン)

日本人ドライバー：松浦孝亮 7位 (予選 6位)



●第10回 2007年4月19日～21日

IRL インディカー・シリーズ第3戦

ブリヂストン・インディ・ジャパン 300

優勝：トニー・カナーン

(アンドレッティ・グリーン・レーシング：ホンダ／ダラーラ／ファイアストン)

2位：ダン・ウェルドン

(アンドレッティ・グリーン・レーシング：ホンダ／ダラーラ／ファイアストン)

3位：ダリオ・フランキッティ

(アンドレッティ・グリーン・レーシング：ホンダ／ダラーラ／ファイアストン)

PP：エリオ・カストロネベス

(チーム・ペンスキー：ホンダ／ダラーラ／ファイアストン)

日本人ドライバー：松浦孝亮 18位 (予選 9位)



●第11回 2008年4月17日～20日

IRL インディカー・シリーズ第3戦

ブリヂストン・インディ・ジャパン 300

優勝：ダニカ・パトリック

(アンドレッティ・グリーン・レーシング：ホンダ／ダラーラ／ファイアストン)

2位：エリオ・カストロネベス

(チーム・ペンスキー：ホンダ／ダラーラ／ファイアストン)

参考資料 ③

3位:スコット・ディクソン

(チップ・ガナッシ・レーシング:ホンダ/ダラーラ/ファイアストン)

PP:エリオ・カストロネベス※R

(チーム・ペンスキー:ホンダ/ダラーラ/ファイアストン)

日本人ドライバー:武藤英紀 11位(予選9位)、ロジャー安川
14位(予選18位)



●第12回 2009年9月18日～19日

IRL インディカー・シリーズ第16戦

ブリヂストン・インディ・ジャパン 300

優勝:スコット・ディクソン

(チップ・ガナッシ・レーシング:ホンダ/ダラーラ/ファイアストン)

2位:ダリオ・フランキッティ

(チップ・ガナッシ・レーシング:ホンダ/ダラーラ/ファイアストン)

3位:グラハム・レイホール

(ニューマン/ハース/ラニガン・レーシング:ホンダ/ダラーラ/ファイアストン)

PP:スコット・ディクソン

(チップ・ガナッシ・レーシング:ホンダ/ダラーラ/ファイアストン)

日本人ドライバー:武藤英紀 14位(予選22位)、松浦孝亮
17位(予選16位)、ロジャー安川 20位(予選17位)



●第13回 2010年9月18日～19日

IRL IZOD インディカー・シリーズ第16戦

インディ・ジャパン 300

優勝:エリオ・カストロネベス

(チーム・ペンスキー:ホンダ/ダラーラ/ファイアストン)

2位:ダリオ・フランキッティ

(チップ・ガナッシ・レーシング:ホンダ/ダラーラ/ファイアストン)

3位:ウィル・パワー

(チーム・ペンスキー:ホンダ/ダラーラ/ファイアストン)

PP:エリオ・カストロネベス

(チーム・ペンスキー:ホンダ/ダラーラ/ファイアストン)

日本人ドライバー:佐藤琢磨 12位(予選10位)、武藤英紀
14位(予選17位)、ロジャー安川 20位(予選21位)

※P:雨で予選中止によりプラクティス順でスタート

※R:雨で予選中止によりランキング順でスタート



データ集

●参戦ドライバー:95人

●参戦回数トップ3:1位トニー・カナーン全13戦、2位エリオ・カストロネベス12戦、3位ダリオ・フランキッティ11戦

●最多勝利:2勝(アドリアン・フェルナンデス98-99年、ダン・ウェルドン04-05年、エリオ・カストロネベス06、10年)

●表彰台獲得ドライバー:20人

●最多表彰台:5回(エリオ・カストロネベス:優勝06、10年。2位01、08年。3位04年。ダリオ・フランキッティ:2位00、09、10年。3位03、07年)

●最多トップ5フィニッシュ:5回(エリオ・カストロネベス、ダン・ウェルドン、トニー・カナーン、ダリオ・フランキッティ)

●最多トップ10フィニッシュ:8回(ダン・ウェルドン)

●キャリア初優勝を達成したドライバー:ダン・ウェルドン(04年)、ダニカ・パトリック(08年)

●勝利チーム・トップ2:1位アンドレティ・グリーン・レーシング(4勝)、2位パトリック・レーシング、チップ・ガナッシ・レーシング、チーム・ペンスキー(2勝)

●勝利エンジン・トップ3:1位ホンダ(7勝)、2位フォード(4勝)、3位トヨタ(2勝)

●勝利シャシー・トップ3:1位ダラーラ(8勝)、2位ローラ(3勝)、3位レイナード(2勝)

●最多勝利(タイヤ):13勝(ファイアストン。2002年のブリヂストン・ブランドでの参戦を含む)

●最速レース記録:1時間44分48秒888。平均178.113mph(約286.584km/h)2001年5月19日ケニー・ブラック(フォード/ローラ/ファイアストン)が優勝

●レース距離:CART時代は500キロ・レースで201周を周回。当時は1周を1.549マイルで計算していたことから、レース距離は311.349マイル(×1.609キロで約500キロ)。IRLになってからは300マイル・レースとなり、全200周のレースに。

●最多リード・チェンジ:13回(2003年4月13日)

●最少リード・チェンジ:3回(2000年5月14日、2010年9月19日)

●最多リーダー:7人(1998年3月28日、2002年4月27日、2005年4月30日)

●最少リーダー:3人(2000年5月14日、2010年9月19日)

●最多コーション:9回(2003年4月13日)

●最少コーション:2回(2001年5月19日、2009年9月19日)

●最多コーション・ラップ:64周(2003年4月13日)

参考資料 ④

- 最少コーション・ラップ:13周 (2001年5月19日)
- トップと同一周回数でフィニッシュしたドライバーの最多:18人 (2010年9月19日)
- トップと同一周回数でフィニッシュしたドライバーの最少:2人 (2001年5月19日、2002年4月27日)
- 完走ドライバーの最多:20人 (2009年9月19日、2010年9月19日)
- 完走ドライバーの最少:11人 (2003年4月13日)
- ウィナーのトップ走行周回の最多:192周 (ダン・ウェルドン 2004年4月17日)
- ウィナーのトップ走行周回の最少:3周 (ダニカ・パトリック 2008年4月20日)
- ウィナーと2位の差の最少:0.4828秒 (2007年4月21日に優勝したトニー・カナーンと2位ダン・ウェルドン)
- ウィナーと2位の差の最大:12.282秒 (2002年4月27日に優勝したブルーノ・ジュンケイラと2位アレックス・タグリアーニ)
- ウィナーの平均年齢:31歳

ウィナー	年齢
1998: アドリアン・フェルナンデス	34歳と342日
1999: アドリアン・フェルナンデス	35歳と355日
2000: マイケル・アンドレッティ	37歳と222日 (最年長)
2001: ケニー・ブラック	35歳と59日
2002: ブルーノ・ジュンケイラ	25歳と174日 (最年少)
2003: スコット・シャープ	34歳と303日
2004: ダン・ウェルドン	25歳と300日
2005: ダン・ウェルドン	26歳と312日
2006: エリオ・カストロネベス	30歳と347日

2007: トニー・カナーン	32歳と111日
2008: ダニカ・パトリック	26歳と26日
2009: スコット・ディクソン	29歳と59日
2010: エリオ・カストロネベス	35歳と132日

- PP獲得トップ3:1位エリオ・カストロネベス5回(01、06※R、07、08※R、10年)、2位スコット・ディクソン2回(03※P、09年)、3位以下は1回ずつ
※P:雨で予選中止によりプラクティス順でスタート
※R:雨で予選中止によりランキング順でスタート

- 1周の最速スピード(平均)&タイム:219.000mph(352.371km/h)、25.463秒。1999年にジル・ド・フェラン(ホンダ/レイナード/グッドイヤー)が予選で記録。IRL時代は205.762mph(331.071km/h)、26.5938秒で2004年にダン・ウェルドン(ホンダ/ダラーラ/ファイアストーン)が予選で記録。

- PP獲得チームのトップ3:1位チーム・ペンスキー6回、2位チップ・ガナッシ・レーシング5回、3位ウォーカー・レーシング&アンドレッティ・グリーン・レーシング1回

- PPエンジン・トップ2:1位ホンダ(9回)、2位ヨタ(4回)
- PPシャシー・トップ3:1位ダラーラ(7回)、2位レイナード(3回)、3位ローラ(2回)

- PPタイヤ・トップ2:1位ファイアストーン&ブリヂストン(12回)、グッドイヤー(1回)

- PPから優勝したドライバーは13回中5人、最も低い予選順位から優勝したのは2000年のマイケル・アンドレッティで8位から。

ウィナー	予選順位
1998: アドリアン・フェルナンデス	2位
1999: アドリアン・フェルナンデス	4位
2000: マイケル・アンドレッティ	8位
2001: ケニー・ブラック	6位
2002: ブルーノ・ジュンケイラ	PP

2003: スコット・シャープ	7位
2004: ダン・ウェルドン	PP
2005: ダン・ウェルドン	5位
2006: エリオ・カストロネベス	PP
2007: トニー・カナーン	3位
2008: ダニカ・パトリック	6位
2009: スコット・ディクソン	PP
2010: エリオ・カストロネベス	PP

- 日本人ドライバー参戦数:10人

- 日本人ドライバー参戦数トップ3:1位 ロジャー安川(6回)、2位 松浦孝亮(5回)、3位 高木虎之介&中野信治(4回)

- 日本人ドライバー最高位:7位(松浦孝亮 06年)

- 日本人ドライバー最高予選順位:3位(高木虎之介 03年)

- 女性ドライバー参戦数:4人(ダニカ・パトリック6回、サラ・フィッシャー2回、ミルカ・デュノ、シモーナ・デ・シルベストロ)

- ウィナーの最終ランキング。全員がランキング8位以内

ウィナー	ランキング
1998: アドリアン・フェルナンデス	4位
1999: アドリアン・フェルナンデス	6位
2000: マイケル・アンドレッティ	8位(ワースト)
2001: ケニー・ブラック	2位
2002: ブルーノ・ジュンケイラ	2位
2003: スコット・シャープ	8位(ワースト)
2004: ダン・ウェルドン	2位
2005: ダン・ウェルドン	チャンピオン(ベスト)
2006: エリオ・カストロネベス	2位
2007: トニー・カナーン	3位
2008: ダニカ・パトリック	6位
2009: スコット・ディクソン	2位
2010: エリオ・カストロネベス	4位